

## 水難救助

一年を問わず発生している、水難事故に対応する訓練です。実際に潜水する隊員（現場活動部隊）・水面より支援する隊員（前進指揮所）・陸上支援隊員（指揮本部）に別れて行います。今回の訓練は冬場の池で実施しており、潜水隊員の安全管理が、一段高く求められています。

1. 情報収集をした後に、活動方針を隊員に説明しています。各チームが役割を把握していないと事故につながります。



2. 先行して水面より状況確認を行い、検索範囲の確認を行います。また、潜水隊員と指揮本部との情報交信を担当しています。



3. 潜水隊員を投入しています。自分で確認することは当然ですが、事故が無いように陸上支援隊により2重チェックを行います。



4. 潜水隊員の活動による情報と、潜水隊員に対する安全管理状況を確認し、指揮本部へ逐次情報交信を行っています。



4. 急勾配の地形を想定した救出訓練を、陸上支援隊が実施しています。つるべを利用した形で、限られた人数でも救出が可能となります。



5. 活動の継続をにらみ、潜水隊員の疲労回復の為に、暖を取る場所を作成しています。

